

# 令和2年度 第18回 政策推進会議報告

日 時 2月15日 9時32分～11時53分

場 所 WEB会議室

出席者 17人

## 1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

総合政策局長から資料に基づき報告。

## 2 令和3年度当初予算の概要について

資産統括局長から資料に基づき報告。

## 3 令和3年度主要事業等について

総合政策局長から資料に基づき報告。

## 4 令和3年度公営企業局（公営企業会計）主要事業について（水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業）

公営企業管理者から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・水道や下水道の整備は地下埋設物の工事になるので、道路の掘り返し等を防ぐために、道路の占有者会議を行っている。今後は特に鉛製の給水管の改修が計画されていると思うが、当該年度のみならず、将来的な予測があれば、道路課等においても先行して地下埋設物の入替えや舗装の修繕等ができるので、調整をよろしく願いたい。
- 地下埋設物の対応については、公営企業局あるいは都市整備局だけで実施すると非効率な部分があるというのは承知しているので、今後の計画を早めにお伝えして、できるだけ効率的な施工、特に鉛製の給水管の改修に努めていきたいと思う。
- ・（市長）手戻りのないように連携をお願いしたい。また、そういう連携が今まで全くなかった訳ではないが、今後より意識的に推進されていくとすれば、そういった良い事例を見える化して市民の方にもお伝えするような方法が何かあるだろうか。
- ・都市整備局においても舗装の修繕計画を立てているところだが、例えば「何年後にこの道路を舗装します。その前に修繕工事や地下埋設物の掘り返しを行います」という情報を見える化していきたいと思っている。今そういう計画を準備中なので、出来次第、市民の方にも知っていただけるようにしていきたい。
- 水道事業や工水事業に係る地下埋設物の工事や断水等のお知らせは、日頃から丁寧に行うようにしているが、今日ご意見いただいたようなことも、更に見える化して市民の方にお伝えできるように努めていきたいと思う。
- ・（市長）市民の方からすると出来ていて当たり前のことかもしれないが、やはり手戻りのない

よう意識的に連携しているということはぜひ発信していきたいと思うので、よろしく願います。

## **5 令和3年4月1日付け組織改正について**

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 今年度はコロナ関連で年度内の変動が大きくあり、それを定数化していくということが大きな割合を占めていると思う。ただ、来年度もまた色々と臨機応変にやっていかないといけないであろうことも予測されるので、引き続きのご協力をお願いする。また、コロナ以外の分野での大きなチャレンジとしては、都市整備局で今年度住宅マスタープラン改め住まいと暮らしの計画を策定したことを受けて、それをしっかりと推進していくための体制を整えることとした。これについては、後日ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議を行う予定で、そちらとも関連するかなと思うので、また改めてこの心とか今後の見込みを皆さんと情報共有して、積極的な協議を行いたいと思う。

## **6 尼崎市人権文化いきづくまちづくり計画(素案)に対する市民意見公募手続の実施について**

総合政策局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 補足となるが、今回、人権文化いきづくまちづくり計画という名称を設定しており、「まちづくり」とあるように、前身である人権教育・啓発推進基本計画よりも大きな捉え方の計画となっている。それはそもそも、この計画が人権文化いきづくまちづくり条例に基づき、その推進のために作られた計画だからであるが、念のため確認しておく。

全体の構成は目次を見ていただいたらわかるように、まず初めに人権尊重の土壌づくりという内容を記載している。

次に、人権侵害に関する相談と支援の充実となっており、これは要するに、権利侵害や障害になっていることがあれば、そういう事象にしっかりと対応していく責務が私達行政にあるということを記載している。例えば、視覚や聴覚に障害のある方にもしっかりと情報共有していくためのツールが必要であるし、セクシャルマイノリティの方たちのパートナーシップ制度を導入したが、まだ制度が追いついていないようなところがあれば、当事者の権利を確保できるように自治体ベースでチャレンジしていくなど、そういった啓発・学習にとどまらないところについても、しっかりとPDCAを回していく必要がある。

あと大きなもう一つの柱が、元々の人権教育や人権啓発の推進というところになるが、市民の皆さんと一緒に学習するというパートとは別に、やはり公権力を預かる市役所職員や、子どもたちに大きな影響を及ぼす教職員は、より深い学びが必要であるし、それに基づくリテラシーやスキルの向上が求められる。ここについては、審議会からも、きちんと柱を分けてしっかり進捗管理と充実を図るようにと強く言われている。この計画を機に、より一層の取組をしていきたいと思っているので、教育委員会等とも連携して実施していくことになると思うが、ぜひよろしく願いたい。

- ・(市長) 人権文化いきづくまちづくり審議会では、この計画を作るにあたって、本当に熱心な

審議をしていただいた。議会との関係で言えば、従来の議員個人が審議会委員になることとは違う形で議会からも積極的なご意見をいただこうという新しい取組の、ある種先陣を切っている審議会でもあり、随時この審議内容は議会へ報告している。3月の協議会の報告案件にもあがっており、どのくらい議論が盛り上がるか、時間的な制約もあるかもしれないが、条例を制定する際にも議会から色々な論点が出されたし、これからも継続して議会とも議論が進んでいくと思うので、その辺りもまた情報共有していきたいと思う。

## **7 尼崎市障害者計画（第4期）・障害福祉計画（第6期）（素案）に対する市民意見公募手続の結果等について**

健康福祉局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・(市長)職員への研修は終わりのない取組であるが、しっかりと成果や課題の見える化を行い、職員の自覚も含めてPDCAを回していくというような発言が局長の説明にあったが、先ほどの人権文化いきづつまちづくり計画とも地続きになるような取組だと思う。ちなみに、今ダイバーシティ推進課ではセクシャルマイノリティに対する職員向けサポートブックを作成中である。多分これから色々なテーマでそういう職員向けの取組が進んでいくと思うので、総務局にも配慮していただかないといけないが、あまり縦割りになりすぎずに、研修の中で上手く組み合わせて、しっかりと職員の学びを充実させていけるように進めていきたい。

## **8 その他**

- 総合政策局長から、A-Lab Exhibition Vol.27「普通の日 YU SORA 個展」について説明。
- 総合政策局長から、第2回尼崎市文化未来奨励賞受賞者・山村貴司さんによる発表について説明。（以下、質疑等）
  - ・(市長)副賞の予算を活用した発表で、若い力を市民に還元してもらおうというところがこの奨励賞の味噌になっている。今回は残念ながらコロナ禍での開催ということで、色々な制約があると思うが、ハイライトでもいいので動画配信できたらいいのではないかと思う。  
→先方と協議させていただく。
- 総合政策局長から、尼子騷兵衛オリジナルピクチャーコレクションについて説明。
- 健康福祉局長から、第8期尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の愛称決定について説明。（以下、質疑等）
  - ・(市長)個人的には、高齢者計画だということが一目でわかるようなものがないかなと思っていたが、人生を積み重ねていく終盤に向けて、私たちがそれを全うするための計画ということなので、やはり「あま咲き」という包括的なネーミングがふさわしいのかなという感じもする。介護保険の金額だけでなく、きちんとそういった理念のところを大事にして、オール尼崎の計画だということやっていけたらいいと思う。また、前段の「生き生き！！」に関しては、局長から説明があったとおり、既に色々な介護事業の名称に使われており、そういうところが上手く関連づけて明示されるようになればいいかなと思う。計画の名称や愛称には、理念や公平性といったものが込められると思うので、このように名前の意味を皆でしっかり共有しながら今後も進めていきたい。

- 危機管理安全局長から、昨晩に東北で発生した地震について、現時点で応援要請等はない旨を報告。

以 上